

図書館100周年記念誌刊行記念座談会を開催しました

刊行記念座談会

◆日 時 平成26年1月15日（水）

14時～15時30分

分

◆場 所 中央図書館 3階 第2・3会議室

◆講 師 図書館100周年記念誌編集委員
(大須賀哲夫さん、岡田昭尚さん、
中村光雄さん、吉田和代さん)

◆19名の方々にご参加いただきました



豊橋市図書館の100年の歴史をまとめた、『豊橋市図書館100年のあゆみ』の刊行を記念して、座談会を開催しました。豊橋市図書館は1912（大正2）年1月15日に花田町守下の地に開館しましたので、当日はちょうど101回目の誕生日でした。

座談会の講師は記念誌の編集に携われた編集委員の方々と、編集から刊行までの印象に残ったことや図書館の思い出などについてお話していただきました。

現在の豊橋市公会堂横にあった2代目図書館を利用されたことのある編集委員の大須賀哲夫さんは、「当時の図書館は有料だった。本が貴重だったので、本を返す時には厳しくチェックされた。図書館の中は暗かった。」と思い出を語られました。



また、中村光雄さんは元豊橋市図書館長で、『豊橋市立図書館50年の歩み』の執筆編集でも中心的な役割を果たされました。現在の中央図書館建設にも携われており、中央図書館が開館するまでの経緯などをお話いただきました。中村さんは、映画にもなった『図書館戦争』（有川浩／著）に登場する「図書館の自由に関する宣言」にも深いつながりがあり、「図書館の自由に関する宣言」ができた当時の図書館界の様子など興味深い話題もありました。

編集委員のみなさんが3年をかけて完成した『豊橋市図書館100年のあゆみ』は、中央図書館・市役所じょうほうひろばで販売中です。ぜひ、手にとってご覧ください。

◆「図書館だより第98号」（平成26年2月1日号）より、中村光雄さんの寄稿による「図書館100周年記念誌番外編」を始めました。記念誌とあわせてご覧ください。

